

# 施策評価シート

評価年度	平成24年度	事業実施年度	平成23年度	施策主管次長名	政策推進部次長 藤根 金光
施策番号	73	施策名	健全で安定した財政運営の推進		
関係課名	財政課、税務課、納税課				

## 1. 施策の概要

施策の目的	対象	市財政	対象指標名		単位	H22実績	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
			歳入決算額(普通会計)	千円	22,157,307	23,963,627	20,538,857	19,725,259	21,091,642	21,302,558	
			歳出決算額(普通会計)	千円	21,126,237	23,746,419	20,538,857	19,725,259	21,091,642	21,302,558	
			地方債残額(一般会計)	千円	13,899,220	13,183,666	12,147,148	11,110,564	10,952,374	10,419,602	
意図	効率的、効果的な予算配分を行う 税の適正、確実な確保				成果指標名	経常収支比率					
					自主財源比率						
					実質公債費比率(3か年平均)						
					税収納率						

## 2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
指標	経常収支比率	%	97.4	99.6	89.5	93.6	90.0	85.0	80.0
指標設定の考え方と把握方法		財政構造の弾力性を表す指標で、毎年決算数値から算定する。							
指標	自主財源比率	%	82.2	81.4	81.7	82.0	84.5	82.3	84.3
指標設定の考え方と把握方法		市の行政運営の自主性を判断する指標で、毎年決算数値から算出する。							
指標	実質公債費比率(3か年平均)	%	5.1	5.5	5.4	5.6	5.6	5.3	5.1
指標設定の考え方と把握方法		公債費は、将来必ず負担しなければならない義務的経費であり、財政の硬直化を判断する指標で、毎年決算数値から算定する。							
指標	税収納率	%	93.1	91.7	93.7	92.3	92.8	93.3	94.0
指標設定の考え方と把握方法		市の基幹的な自主財源である市税の収納率を指標とし、毎年決算において算定する。							

## 3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の効果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	納税義務を果たすとともに、住民個人、自治組織、ボランティア等の自助、共助により地域の課題で出来ることは地域自らが解決する。			
	行政	市民ニーズを的確に把握したうえで、効果的な事業を公平に効率的に実施する。			
達成度評価	成果目標(指標計画値)と現状との比較	各指標とも計画にほぼ同じとなっている。しかし、経常収支比率は計画値が高いため今後抑制していく必要がある。			
	近隣との比較	西三九市で比較すると、経常収支比率は最も高い値であるが、実質公債比率は中位の値を示している。また、税収納率も上位に位置する値である。(自主財源比率は公表なし)			
	過去3年間の実績との比較	経常収支比率が平成21年度に大きく悪化し、やや改善されてきているもののまだ高い状況にある。また、自主財源比率も低下傾向にある。しかし、実質公債費比率は低下してきており、将来的に負担は軽減されている。			
【優先度評価】 成果向上の余地、市長マニフェストとの結びつき、緊急度など	現下の経済情勢の下では、行政評価結果の予算への反映と、一層の事務事業の見直しを進めることで、より自由度が高い財政運営を目指すことができる。				
【総合評価】 今後の方向性、課題解決のための事務事業の見直しなど	平成20年秋の世界同時不況から市財政は大きな影響を受け、さらに昨年3月の東日本大震災、10月のタイ大洪水により輸送関連企業の業績に大きなダメージがあったことにより、本市に財政は先行きが非常に不透明となり、歳入の増加は期待できな状況となっている。また、経常収支比率が高い状態が続いていることから経常経費の圧縮を行っていく必要がある。				
市民意識	重要度	高い	満足度	低い	平成23年度市民アンケート調査による